

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分
 【発行日】平成25年9月26日 (2013.9.26)

【公開番号】特開2013-28073(P2013-28073A)
 【公開日】平成25年2月7日 (2013.2.7)
 【年通号数】公開・登録公報2013-007
 【出願番号】特願2011-165674(P2011-165674)
 【国際特許分類】

B 4 1 J 3/50 (2006.01)

G 0 7 D 9/00 (2006.01)

【 F I 】

B 4 1 J 3/516

G 0 7 D 9/00 4 3 6 A

G 0 7 D 9/00 4 5 6 F

【手続補正書】
 【提出日】平成25年8月9日 (2013.8.9)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 2 2
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【 0 0 2 2 】

図 1 に示す印字装置 1 は、印字ヘッド 2 と、ギャップガイド 3 と、キャリッジ 4 と、ギャップ調整機構 5 (図 2 参照) と、ヘッド移動部 6 と、プラテン 7 と、付勢機構 8 と、付勢力調整機構 9 と、フレーム 1 0 と、を備えている。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 5 5
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【 0 0 5 5 】

モータ 3 2 は、例えばステッピングモータから成り、小径ギア 3 3 を正逆両方向に回転駆動する。これにより、大径ギア 3 4 が正逆両方向に回転し、カム 3 1 は、サイドフレーム 1 6 b のスタッド 2 7 を支点にして正逆両方向に回転する。

【手続補正 3】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 5 8
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【 0 0 5 8 】

これにより、プラテン 7 には、第 1 のスプリング 2 1 による付勢力のみならず、第 2 のスプリング 2 2 による付勢力が加えられる。このように、付勢力調整機構 9 は、少なくとも 1 つの弾性部材として第 2 のスプリング 2 2 を、プラテン 7 を付勢する位置と、そこから退避した位置 (第 3 のリンク 1 9 がストッパ 1 7 a によりロックされた位置) とに移動させる。

【手続補正 4】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 6 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 6 1 】

このように、本例における付勢力調整機構 9 は、複数のスプリングのうち、少なくとも 1 つのスプリングとして第 2 のスプリング 2 2 を、プラテン 7 を付勢する位置と、そこから退避した位置（第 3 のリンク 1 9 がストッパ 1 7 a によりロックされた位置）とに移動させる。このように、必要に応じてプラテン 7 を付勢するスプリングの数を変化させて、印字媒体 1 1 に対し付勢力を大きく変化させることができる。